

令和7年度 第3回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和8年2月25日（水）

18:00～20:00

前回の検討委員会以降の取組の経過報告を行い、スポーツ少年団などの指導者の方々と協議の場をもったことや、小中学校のPTA会長の方々に現在の方針を説明したことを報告した後、協議を行った。

1 国・県の動向について

岡山で開催された「部活動地域移行 実証事業成果報告会」の概要を伝えた。昨年12月に今後6年間の改革実行期間のガイドラインが策定され、現在の部活動の教育的な意義を受け継いで活動する地域クラブを「認定地域クラブ」として市町村が認め、公的支援が受けられる仕組みが整えられたことを報告した。

また、今年度、実証事業に取り組んでいる3自治体の様子も伝え、鏡野町の方針と類似した方針で取り組みを進めている和気町や、教職員の「兼職兼業」を制度化している早島町、矢掛町とは今後連携を図りたい。

2 現状と課題

各部ごとに取組の現状を伝え、少しずつではあるが前進している状況を踏まえ意見交換を行った。現在、モデル事業として取組を行っている2つの部にソフトテニス部を加えることを了承した。ソフトテニス部については来年度2学期から先行して休日の受け皿づくりを進め、課題を洗い出していく。今後の取組に関しては、令和9年度からの休日の移行・連携において、ソフトテニス部のような早めの準備が必要であるという指摘や、部活動の保護者会に協力のもとで組織づくりを行い、持続的な地域クラブ活動になるよう取り組むことの必要性が指摘された。

3 「認定クラブ」の要件について

国の資料を参考に「認定要件確認書」を作成し、示された要件を確認できる地域クラブを「認定地域クラブ」として認定していくことを確認した。今後、早急に制度を整えていく。

4 今後の取組

令和9年度の「休日の部活動の移行・連携」に向け、関係団体への一層の協力依頼、現在お世話になっている「部活動指導員」「外部指導者」の方々へとの情報交換・協力依頼、児童・生徒、保護者、地域の方々への説明・協力依頼、補助金等公的支援の確保、「兼職兼業」の制度設計 等におき取組を進めていくことを確認した。